

授業科目名	動物形態機能学Ⅱ	科目コード	261025		
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	2年
担当教員	山下 真理子 (非常勤講師)				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無) 実務経験内容 ・ 獣医師免許 ・ 日本動物高度医療センター (株) オーストラリア及び米国 CRI (Canine Rehabilitation Institute) 動物理学療法師資格認定コース受講し、動物理学療法のカリキュラムを修得・開発 一般社団法人 日本動物看護職協会事務局長など幅広く活躍されている				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	60 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物学			
	著 者	緑書房編集部 編			
	出版社	株式会社 緑書房			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学、小動物臨床のための機能形態学入門 改訂版				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標></p> <p>体の構造と機能を知り、疾病の成り立ちと回復の促進に寄与するため、動物医療に必要な専門知識を学び動物看護に活かす。また、人と動物が調和して暮らせるよう健康管理と維持に必要な知識を習得した人材育成を目指す。</p>					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>解剖学的な用語は難しいものが多いが、獣医師からの説明に多くの解剖用語が出てきても理解できるようにする。また、疾病学や薬理学なども形態機能学の知識が必要となるため、基礎的な知識を身につけさせる。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>前期に優・良・可・不可の成績基準を設定する。評価の基準は筆記試験によるものとし、本科目の出席率が80%以上なければ本試験が受験できない。本試験における点数が80~100点を優、70~79点を良、60~69点を可とし、60点未満は追試とする。また、出席率が80%未満の場合も追試となり、80%を満たすまでの時間数の課題に取り組んだのちに追試験を受けることができる。追試においては60~100点を可とする。追試にて60点未満の場合は不可となる。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 動物形態機能学Ⅰ</p>					

授業科目名		動物形態機能学Ⅱ	
2H/回	授 業 内 容	備 考	
1	前年度の振り返り		
2	循環器とその調節（循環器系とは、心臓の役割）		
3	循環器とその調節（心臓の解剖、心音）		
4	循環器とその調節（刺激電動系、血管系）		
5	循環器とその調節（血圧調節機構、胎子循環）		
6	循環器とその調節（リンパ系、循環器系のまとめ）		
7	呼吸器とその調節（呼吸器系の基本構造）		
8	呼吸器とその調節（換気、ガス交換）		
9	呼吸器とその調節（呼吸器系のまとめ）		
10	泌尿器系（泌尿器系とは、腎臓）		
11	泌尿器系（尿路、尿）		
12	泌尿器系（体液調節）		
13	内分泌とホルモン（内分泌・ホルモンとは）		
14	内分泌とホルモン（視床下部－下垂体－末梢内分泌系）		
15	内分泌とホルモン（視床下部－下垂体－末梢内分泌系以外）		
16	生体の組織とその形と働き（生体各部の名称、基本的な組織）		
17	生体の組織とその形と働き（細胞とは、いろいろな細胞）		
18	生体の組織とその形と働き（組織の形と働き：呼吸器系）		
19	生体の組織とその形と働き（組織の形と働き：循環器系）		
20	生体の組織とその形と働き（組織の形と働き：循環器系）		
21	生体の組織とその形と働き（運動器）		
22	生体の組織とその形と働き（血液と造血器）		
23	生体の組織とその形と働き（消化器系と栄養代謝）		
24	生体の組織とその形と働き（脳と神経）		
25	生体の組織とその形と働き（感覚器）		
26	生体の組織とその形と働き（皮膚の基本構造・付属器）		
27	生体の組織とその形と働き（泌尿器系）		
28	生体の組織とその形と働き（内分泌系、ホルモン）		
29	生体の組織とその形と働き（内分泌系、ホルモン）		
30	全体まとめ		